



名大ITbMの研究室



東山先生が「淀粉管」を見るため発明した機械

「こども会議」

未来を作る研究新聞

五年 川心 月

名大ITbMのすごい研究

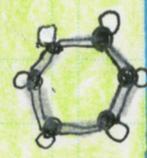
8月26日、研究の面白さを伝える方法について考える「こども会議」が名古屋大学ITbMで開かれ、佐藤先生、伊丹先生、東山先生の三人に基礎研究の大切さと現在の研究について話を聞きました。

東山先生の「大発見」



東山先生は、世界で初めて植物の受精を生きたまま見る事に成功しました。そして、受精のかぎとなる誘引物質「ルース」を発見しました。

伊丹先生の「大発見」



伊丹先生の夢は、「ベンゼンを使って世界を変える」事です。世界で初めてベンゼンからカーボンナノベルトという化合物を作る事に成功しました。

大切な「基礎研究」

基礎研究は、何かを作ろうとする目的から始まるのではなく、研究者の好奇心から始まる事を知り、驚きました。失敗も多く、年月もかかりますが、いつかその成果が私たちの暮らしを豊かにする開発研究につながっていくと思います。東山先生の発見は将来の食糧危機の解決に、伊丹先生の発見は宇宙エシベーターの開発につながるかもしれません。

kyokuto.com

kyokuto.com